

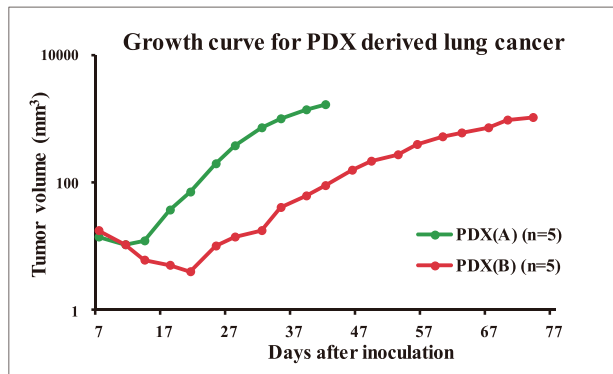
腫瘍モデル

■ PDX皮下移植モデル^{1),2)}

1) Yamano *et al. Cancer Med.* 2020. **9**:3337-3343.
2) Choi *et al. Sci Rep.* 2016. **6**:22172

外科手術や生検により摘出された患者の腫瘍を免疫不全マウス皮下に移植し、3回ほど継代し確立したPDXを移植したモデルである。摘出時の腫瘍の特性は3回の継代を経てもほとんどそのまま維持される。DNA Link, Inc.より提供されたPDXを用いて作製したモデルの腫瘍体積を測定した。

使用動物：BALB/cSlc-*nu/nu* (雌性、6 weeks)
移植腫瘍：約2mm角ブロック
移植部位：右側腹部皮下

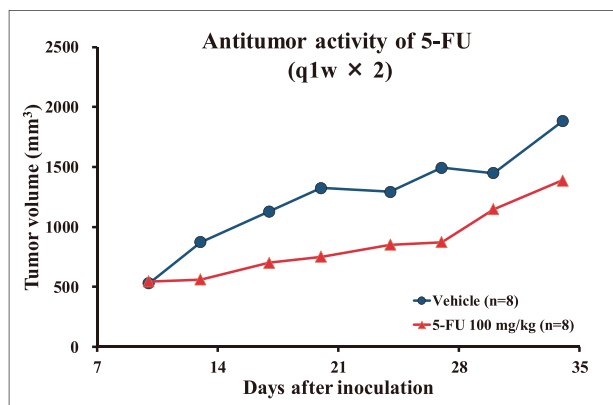


■ ヒト腫瘍株化細胞 (CDX) 異所移植モデル^{3),4)}

3) Miwa *et al. In Vivo.* 2019. **33**:1785-1792.
4) Hossain *et al. Int J Oncol.* 2012. **40**:1298-1304

ヒト腫瘍株化細胞の浮遊液や腫瘍ブロックを免疫不全マウス皮下に移植し、固形腫瘍を作製するモデルである。抗がん剤5-FUを静脈内投与し、腫瘍体積を比較することで、抗腫瘍活性を評価した。

使用動物：BALB/cSlc-*nu/nu* (雌性、6 weeks)
移植細胞：HCT116細胞株 (ヒト大腸がん)
移植細胞数： 1×10^7 cells
移植部位：右側腹部皮下



■ ヒト腫瘍株化細胞 (CDX) 同所移植モデル^{5),6)}

5) Yamasaki *et al. Mol Ther Oncolytics.* 2017. **6**:45-56.
6) Higuchi *et al. Oncol Lett.* 2018. **15**:3091-3099

ヒト膵臓癌株化細胞の細胞浮遊液を免疫不全マウス膵臓尾部に移植し、同所移植モデルを作製した。腫瘍は増殖とともに、他臓器に転移する。抗がん剤Gemcitabineを静脈内投与し、生存日数を比較することで、抗腫瘍活性を評価した。

使用動物：BALB/cSlc-*nu/nu* (雌性、6 weeks)
移植細胞：SUIT2細胞株 (ヒト膵臓がん)
移植細胞数： 1×10^6 cells
移植部位：膵臓尾部被膜下

